

丹波市地域福祉計画推進協議会
地域福祉推進部会（第3回）
議事録

開催日時	令和2年10月15日（木）午後1時30分開会～午後2時47分閉会
開催場所	氷上健康福祉センター 集会運動室
部会長	澤村委員
出席者	長井委員、澤村委員、森島委員、北村委員、上田委員、足立委員、細見委員、吉積委員、中川委員（以上9名）
欠席者	堂本委員（1名）
議題	1. 開会 2. 部会長あいさつ 3. 前回協議をふまえた内容の確認と意見交換 （1）施策目標：人づくり（計画素案33ページ） 1）介護福祉現場の魅力アップと職場定着支援 2）多様な人材確保 3）研修体制の充実による人材育成の強化 4）業務の効率化と生産性向上対策の推進 （2）施策目標：公益活動（計画素案34ページ） 1）社会福祉法人連絡協議会の活性化 2）法人資源を活かした地域への働きかけ 3）地域公益活動を通じた社会福祉法人の見える化 4. その他 5. 閉会
資料	（1）会議次第 （2）丹波市地域福祉計画推進協議会 地域福祉推進部会部会員名簿 当日配布資料 ・第3期丹波市地域福祉計画 骨子案 - 丹波市社会福祉協議会地域福祉推進計画（第4次） - 丹波市成年後見制度利用促進計画 ・ほっとかへんネット丹波

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
事務局	1. 開会 ○開会あいさつ はじめに澤村部会長よりごあいさつ願いたい。 2. 部会長あいさつ
部会長	○あいさつ
事務局	○資料確認
	3. 前回協議をふまえた内容の確認と意見交換 (1) 施策目標：人づくり（計画素案 33 ページ） 1) 介護福祉現場の魅力アップと職場定着支援 2) 多様な人材確保 3) 研修体制の充実による人材育成の強化 4) 業務の効率化と生産性向上対策の推進
事務局	○資料に基づき説明
部会長	前半は33～34ページを皆さんに揉んでいただきたい。 まずは33ページについて皆さんと意見交換したい。 基本目標「福祉に関わる専門人材の確保・育成」についていかがか。このままでもよろしいか。前は「離職予防」と入っていたが、それはネガティブな表現なので、今回は「職場定着支援」とポジティブな表現に変わっている。
委員一同	(意見なし)
部会長	それでは続いて、【施策の考え方】の文章で追加したほうが良い表現等はあるか。よろしいか。
委員一同	(意見なし)

部会長	それでは続いて、【基本的な施策の方向性】として4つ大きな柱が出ている。 まず（１）「介護福祉現場の魅力アップと職場定着支援」として2点あがっているがいかがか。
委員	部会長がおっしゃったように「改善策の実施」はもちろんだが、対策としてはこれでも良いのではないか。
部会長	ただ、できれば数値目標をあげてほしいというお話しがあったので、具体的に処遇改善の目標を出せるかどうか難しい。
委員	各法人の給与体制や勤務体制があるので、そこはもう少し擦り合わせないといけないと思う。 「②介護業界のイメージアップへの取組み及び広報の強化」とあるが、「イメージアップへの取組み」とは何か。介護業界の取組みの広報を強化してイメージアップを図るのか。細かい文字の入れ替えくらいだが、表現に疑問がある。
部会長	イメージアップに取り組めることが優先順位としては①で、処遇改善は②と入れ替えたほうが良いのではないか。足立委員、いかがか。
委員	私もそのように思う。結果、処遇も改善されて全体的に良くなってくるところで。
部会長	それでは、①を「広報の強化による介護業界のイメージアップ」、②に「独自の処遇改善の実施」とし、ご提案があったように数値目標をあげたい。 それから、イメージアップの取組みに広報だけがあがっているが、イメージアップを発信するには学童期・中学生・高校生・大人・高齢者と、各ターゲットによって媒体が違うと思う。広報だけで良いのかと感じた。小学生とかは何をすれば良いのか。
委員	広報とは広報誌だけでなく広い意味での広報で、紙媒体、ネット媒体、色々出てくると思う。広く知らしめるという意味で使っているのではないか。各ターゲットに合わせた媒体を使うというところで、数値目標を設定してはどうか。
部会長	では広報たんば以外にどんな広報があるか、情報提供いただければ有難い。いかがか。FM丹波は。

委員	福祉の大きな枠だが、社協として番組を持つとか。声だけじゃなくて映像で笑顔が見えると良いなと思う。それはもちろん紙媒体もあるが、例えば YouTube 等を施設やショッピングセンターや市民プラザ等で流すとか。それと ICT 教育が小学校から入るが、高齢者にもすごく必要だと思う。色々な地域に Wi-Fi をセットして、皆さんが福祉情報を画像・映像で観られるようにしてほしい。広報に力を入れると同時に、年代の高い方へのネットや ICT の活用をどんどん広げていくともっと広がると思う。
部会長	今、老人ホームでは面会禁止になっている。最初はビニルやガラス越しの面会は OK だったが、緊急事態宣言の後はネット等の画像での面会が推奨された。敬老の日にイベントができないので、家族にビデオレターを LINE で送ってもらった。90 代の入所者の息子さんは 70 代で LINE を使える方が少なく、写メを送ってきた方も何人かいたが、動画の方は 3 分の 1 くらいだった。届いた方はすごく喜んでおられた。動く映像は魅力があると思う。そういう動画を撮ってイメージアップで流すとか。
委員	デジタルサイネージを私の団体で使えるようにしているので、社協で是非使ってもらえればと思う。
部会長	各施設取材して、介護士さんや保育士さんや障がい支援員さんが笑顔で仕事をしているところ等を撮影して毎日流してもらおうとか。
委員	魅力を内側から発信することが人材の確保に繋がってくる。こういうことをすれば魅力のある職場ですよという表現ばかりになっているが、中からの魅力発信をすることで外の魅力が付加されることが必要ではないか。内なる魅力をどこに書き込むかは、まだ頭の中で整理中だが。
部会長	当事者のやりがいとか、仕事の魅力みたいなことを発信するべきだというご意見か。
委員	そうである。
部会長	介護のやりがいとか介護をする人の輝いてる姿をもっと PR するというような文章にして。
委員	広報の強化の中に入っているかもしれない。
部会長	具体的にあったほうが評価しやすいと思うので、「広報の強化により介護のやりがいや介護者の輝きを発信する」みたいな感じで表現すれば。(1)

	①は「広報の強化により介護のやりがいや介護をする人の輝きを発信する」みたいな文章でお願いしたい。
委員	これは介護しておられる人の立場だと思う。介護していただく人の立場は、これには書いていないのか。その人達がどれだけ自立して生きたかとか。
部会長	今回の目標は福祉に関わる専門人材なので介護する側のことである。
委員	でもされる方がこんな状態だったけどこれだけ自立したということも広報にあげていけば。
部会長	介護をする側だけでなく、される側の輝きも広報にあげてほしいというご意見である。
委員	広報でもそういうものを作っている。施設をインタビューする時も事例についてお話ししてもらえば、この施設にお世話になれば自立できる方がたくさんいらっしゃるという表現になると思う。そのあたりの構成の仕方ではないか。それと入所されている方にインタビューしても良いと思う。当事者のご意見も入れることはできると思う。
部会長	発信する時に当事者の成果や輝きも併せて発信するということでよろしいか。 それでは、(1)は「①広報の強化により介護のやりがいや介護する人の輝きを発信する」、「②丹波市独自の処遇改善策の実施」でよろしいか。 続いて、(2)「多様な人材確保」も4点あがっている。この順番、表現、内容について、ご意見はあるか。
委員	③の「～通信教育による資格取得」にも補助制度はかかってくるということか。
部会長	そうだと思う。
委員	そのあたりが、どうなんだろうというところがある。もう少し上手に補助制度をまとめられたら良いという気もした。 「④学校側の環境整備」とあるが、学校側は教育委員会という大きな壁がある。ここのところをどう考えているのか。色々な施策や教育を普及させるためには学校はすごく必要だが、教育委員会との連携はどのように表現されているのか。どの計画にも興味がある。丹波を福祉のまちとするなら、各学校に全部入れないといけないと思う。そのあたりの連携はどうなのか。

部会長	私が把握している範囲では、丹波市は小学校5年生からミニトライアルとして福祉施設等で色々な職業体験をしている。それから、トライやるウィークがある。その他に、たんば未来学を教育委員会が中心になって行っている。中学校に色々な施設や職場から来て、グループワークをして、将来の仕事をイメージするものである。あと学校によっては福祉体験がある。 事務局どうか。
事務局	あと社協の取組みになるが、小学校・中学校・高校に対して福祉教育の助成金がある。ただ内容的には盲導犬を使っている人の話を聞く、障がい当事者の話を聞く、その疑似体験という取組みが多い。見ようによってはワンパターンなので、ここに社協の色々な立場の職員がお話をされることで、新しい風が吹くという気がしている。学校の先生方もそういう情報を欲しがっておられる。 毎年8月の夏休みに福祉学習担当の先生が来て、小学校・中学校対象に福祉教育を実施している。社協が主になるが、貸し出している器具やレクリエーション用具、障がい者スポーツ関係の用具等を展示しながら、福祉教育のお話を聞いていただく機会も設けている。ただこれは教育委員会直ではなく、学校と独自に連絡を取って来てもらっている。
部会長	(2)の①は、福祉に関わる以前の学生や生徒等が広く一般に関わることで大前提で、それから実際の福祉人材の確保があるのではないかと。これが①ではないと思ったが、皆さんどうか。
委員一同	(意見なし)
部会長	それでは「社会福祉法人と一体となった福祉学習プログラムの充実と学校側の環境整備」を①とするとして、文言はどうか。
委員	「環境整備」というのはどういう表現なのか。
部会長	施策の考え方のところで、福祉学習の場としての社会福祉法人の位置づけがあげられているので、「福祉学習の場として社会福祉法人と連携して福祉学習プログラムを推進する」という表現のほうが適切かと思うがいかがか。
委員一同	(意見なし)
部会長	それでは、①を「福祉学習の場として社会福祉法人と連携して福祉学習プログラムを推進する」とする。②は①と③を一緒にして「福祉人材確保にか

	かる各種補助制度のより一層の充実」として、資格取得のための支援策のあたりを入れてはどうかと思うがいかがか。①は丹波市としては奨学金の返済補助制度がある。丹波市に就職で丹波市に住んでいる方は、年に 10 万支給してもらえる。それから、丹波市外から丹波市にUターンされた場合、住宅家賃を半額補助してくれる。あと女性有資格者人材バンクの制度がある。それらの制度の維持と一層の充実というあたりで取り組んでいければと思っている。 ③は前回提案した。調べてみると、通信教育で大卒資格が取れる大学がいっぱいある。教員免許も通信教育で取れる時代である。丹波市を出て外で学びたい人は出たら良いと思うが、本当は丹波市を出たくないけど学校のために出ないといけない方は、丹波市に残って大卒資格を取って丹波市に就職するという仕組みができれば良いと思う。 ②は「福祉人材確保にかかる各種補助制度のより一層の充実」、③は「丹波市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット丹波）を中心とした市内事業所全体での人材確保策の検討と実施」としてよろしいか。 （３）「研修体制の充実による人材育成の強化」として２点あがっている。研修体制の充実とは、どのレベルの充実なのか。
事務局	これは丹波市の地域福祉計画なので、基本的には市の方向性を落とし込むことになる。「研修体制」は、一つはそれぞれの施設、社会福祉法人が行う研修がある。そういう体制を充実させていくが、①にあるように育成する側、つまり施設側、社会福祉法人側が、後輩の育成について迷っているところもあると思う。そういう面の支援が大事だと思う。色々な形での研修体制が組みまれていき、その上に人材が育成されていくというイメージで考えている。
部会長	②の「安全確保」とは何の安全か。
事務局	特に施設では不慮の事故が多い。マニュアルをきちんと作っているか、その作り方等も安全確保の一つかと思う。「安全確保・人材育成補助」が、必然的に介護業界への支援として必要というところであげている。文章的にはわかりにくいかもしれない。
部会長	何かもう少しわかりやすい表現はないか。
委員	ダイレクトに「リスクマネジメント」とか。「リスクマネジメントの強化とマニュアル作成の補助」と、きっちりそれをやっていると出したほうが安心だと思う。 それと、①の「育成する側の」も文章的にどうなのか。「後進の育成のためのマネジメント力の強化～」はどうか。

部会長	各法人、各施設が研修体制を充実するために「リスクマネジメントの強化やマニュアル作成のできるサポート」みたいな表現のほうが良いと思う。
委員	育成する側とされる側というのは、計画にしては変な表現だと思った。管理職であろうが新卒であろうが、仕事に対するマネジメント力は必要である。「育成する側」と使うなら、「後進指導」となるのではないか。
部会長	(3)の表現も「人材育成の充実による研修体制の強化」と、逆ではないか。
委員	「人材育成のための研修体制の強化」だと思う。
部会長	どういう表現が良いか。
委員	宿題に。
部会長	よりベターな表現で事務局と相談したい。 (4)「業務の効率化と生産性向上対策の推進」2点あがっている。いかがか。
委員	福祉事業で人に対してサービスをする場合に「生産性」という表現はどうか。
委員	支援センターは生産している。
委員	業務を効率化して良くなるのは、ケアの時間が増えるということだと思う。そこを表現しないと。
部会長	②は、「業務の円滑化のためのICT導入」とか。
委員	そのほうが明るい感じがする。
部会長	そういう感じで33ページはよろしいか。
委員一同	(意見なし)
部会長	では、34ページに移る。 【施策の考え方】の表現については、これでよろしいか。

	【基本的な施策の方向性】の（１）①は良いと思う。②の「多機関チーム設置への理解の促進」は、説明を受けないと何のことかわかりにくい。ここは表現を変えたほうが良いのではないか。「ほっとかへんネット丹波と多職種とのコラボの促進」のような表現のほうが。 （２）は２点あがっているがどうか。地域支えあい推進会議は、どれぐらいの頻度でしているのか。
事務局	地区を対象に設置されている。自治会、自治協議会、自治振興会単位である。一部、旧町域で一つでされているところもある。今のところ 14 か所で行われている。頻度は色々で、毎月されているところ、３～４か月に１回されているところもある。
部会長	その地域の社会福祉法人が参加できれば良いと思うが。
事務局	今はまだ色々分析をして、どんな活動が必要なのか協議されている。その中で必要性があれば、社会福祉法人にもお声かけがあると思う。社会福祉法人も地域貢献を今後進めていきたいという意識を持っておられることがアンケートでわかった。必要に応じて、協力していただくために依頼することが増えてくると思っている。
部会長	②は、地域住民が福祉学習をするのか。
事務局	その施設を見に行くだけでも一つの勉強になる。子ども達についても学校との連携で、色々な行事ごとに参加することも一つの福祉学習だと思う。施設を拠点として位置づけることも一つの方法と考えている。
部会長	学生や生徒は福祉学習拠点でも良いと思うが、住民はどうか。福祉施設を交流の場とか、ボランティアとして貢献するとか、何かそういう意味合いの表現のほうが良いのではないか。何か他に良い表現はないか。
委員	「福祉学習の交流拠点」なら、遊びに行ったりボランティアができたり、逆に施設から来ていただいてまた楽しくなるのではないか。
部会長	では「地域福祉学習の交流拠点」という表現で、もう少しソフトにしてもらう。 「地域への働きかけ」はどうか。
委員	「地域とのかかわり」とか。

部会長	それよろしいか。 (3) も抽象的だと思うが、何かあるか。社会福祉法人は、皆さんどんなイメージをお持ちか。
委員	あることは知っているが、どこに何がいうところまでは。
委員	私が思う社会福祉法人は、施設、施設ではなく、全体である。どなたも関わる。私は関係ないという方向では前に進まないのではないか。
部会長	上田委員どうか。
委員	ちょっと難しくて。
部会長	私も自分が法人に勤めるまで、社会福祉法人についてあまり知らなかった。うちの職員も法人職員というイメージを持っている人は少ない。一般の人にとっては、有限会社よりも知名度は下だと思っている。社会福祉法人の見える化以前に、社会福祉法人の知名度を上げるとか知ってもらふレベルが最初だと思うがどうか。
委員	信頼はあると思うが、「信頼獲得」とはどういう意図なのか。
部会長	各施設の信頼はあるが、法人としての知名度がない。①に社会福祉法人を知ってもらふ、理解してもらふというあたり、それから今ある信頼を維持するために「地域と一体となった公益活動を推進」と表現してはどうか。
委員一同	(意見なし)
部会長	それでは 34 ページはそれでいきたい。 あと言い忘れたこと等はあるか。中川委員、今日は発言していないがよろしいか。
委員	33 ページで思ったのは、「多様な人材確保」は「多様な方法による人材確保」ではないか。 全体の計画ではより具体的な書き方になるのか。
事務局	そうである。社協の推進計画もあるし、介護保険計画もこの下位計画としてある。そこで書いていくようになる。
部会長	数値目標を決められるところは、広報のあたりぐらいかと思うが。どのぐ

	らいをあげておけば良いか。とりあえず動画配信をするというあたりで。それから広報は。
事務局	数値目標については大まかな項目ぐらいで良いと思っている。詳しい中味については、また立てていかれると思う。広報たんば、FM丹波、映像の制作、YouTube や夢タウンで動画を流すという項目があがっているので、中味についてはまた検討されると思う。
部会長	それでは事務局にマイクをお返ししたい。
	4. その他
事務局	それでは10分ほど休憩を挟んで15時から地域福祉推進計画の協議に入りたい。
	5. 閉会